

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2024年 3月 15日

事業所名：こころんクラブ高羽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・机上活動や運動活動など状況に応じて部屋を設定している	はい 11名 どちらとも言えない 3名 いいえ 0名 わからない 1名 ・部屋(屋内で)ポールで遊んでいるようだが、そんなスペースがあるのかわからない。危なくないのかな？ ・限られたスペースの中で活動場所を上手に確保されていると思います。施設がもう少し大きいとよりいいです ・お友だちと遊べる場所も個別で学習できるスペースもあり、のびのびと過ごせているようです	・活動内容によって部屋の使い方を設定したり、屋外での運動活動等も取り入れていく
	2 職員の適切な配置	・可能な限り児童の声や要望を受けられる形で職員を配置している	はい 13名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 2名 ・すてきな先生ばかりで信頼がおけます ・子どもに合った対応をいただけています	・引き続き継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・必要に応じて遊具が見えないように目隠しをしている ・予定やロッカーに写真やイラスト等で示している	はい 13名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 2名 ・遊ぶところと課題をするところが分かれているため、本人にわかりやすい環境であると思います	・それぞれの特性に合わせて、設備配置や構造化をできるようにする
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・定期清掃の他にも感染症が流行する時期には玩具等の消毒頻度を増やしている ・活動に集中できるように遊びの時間以外は玩具に目隠しをする等している	はい 15名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 0名 ・清潔で明るく、危険だと感じるものも周りに無いようで、子どもたちの活動に合った空間であると思います	・引き続き継続していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・交代でリーダー職員を設定し、様々な視点から活動を設定するようにしている		・見直しをしながら継続していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・定期的におこなっていく		・定期的におこなっていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・施設研修や外部研修を積極的に取り入れていく		・外部講師の療育指導も定期的に機会を設けていく ・内部研修の回数も増やし理解を深められるようにする
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・定期的に面談を行いニーズや課題などを確認して作成している	はい 15名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 0名	・担当職員以外も児童の状況について把握する機会を増やしていき、アセスメントに繋げていけるようにする
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・能力や興味関心に合わせた活動を設定するようにしている	・気になっているところがしっかり計画にいたっていて、すごく安心です ・子どもに合った支援内容でわかりやすいと思いました	・引き続き継続していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童の発達状況に応じて目標や具体的な支援内容を記載している		・具体内容について記載していくようにする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・計画やニーズに沿った支援内容に基づいて日々の計画を立案している	はい 14名 いいえ 0名 どちらとも言えない 1名 わからない 0名	・年齢や課題内容に応じて日毎の活動を設定し、児童に合った支援をすすめていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・担当職員を中心に、ミーティング等方向性を決め、リーダー職員にて活動を設定している	はい 14名 いいえ 0名 どちらとも言えない 0名 わからない 1名 ・いつもたくさんの事を経験させていただいています	・児童の状況や活動内容について話し合う時間を増やしていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・長期休暇中は遠出の外出や調理活動等、普段行いにくい活動を取り入れている		・時間ごとにメリハリをつけられるように今後も設定していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・リーダー職員を交代制にして活動内容を設定している		・同じ活動内容でも、提供方法や達成目標等を変更しながら興味を育てるようにしていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・活動設定ノートにその日の支援方針や内容等を記載している		・口頭でも内容について共有するようになっていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・活動内容の確認や特記事項等を療育日誌に記載して残すようにして全体で共有できるようにしている	・引き続き継続していく	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・記録を元に定期会議を行い支援の振り返りと改善を図っている	・振り返り検証する機会を増やしていきたい	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・現状に合わせた計画を立てるようにしている	・療育会議などで児童の状況を確認する機会を増やしていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・担当者会議が行われる際には参加するようにしている		・機会を合わせて参加できるようにしていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	支援対象外		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	支援対象外		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・就学児には小学校に対して配慮事項等の情報伝達をするようにしている		・引き続き継続していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・該当する状況なし		・必要があればおこなっていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・機会を設けて参加するようにしている		・職員が希望するときには参加できるような体制を取っていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・近所の公園で近隣の児童といっしょに活動することはある ・あまり機会を設けようとはしていない	はい 6名 どちらとも言えない 0名 いいえ 3名 わからない 6名 ・小学校で障害のない子たちと接する機会があるので、デイでの交流は望んでいません ・悪い意味でなく我々も求めていない ・夏休みの保育所でのプールが楽しいようです	・児童館や公園等で交流できる機会を必要に応じて設けていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域に向けた活動などは現在行っていない		・機会があればおこなっていきたい
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時と利用料変更時に伝達するようにしている	はい 14名 どちらとも言えない 1名 いいえ 0名 わからない 0名	・変更点をわかりやすくし、引き続き継続していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・作成、更新時等に個別面談を行い、支援計画を作成している	はい 13名 どちらとも言えない 1名 いいえ 0名 わからない 1名 ・今年度は面談が(年初めにあったように思うが)なかったのでよくわからない	・内容や意図が伝わりやすい文章作成を心がけていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・特別実施はしていない ・対応に困っている際などに面談や電話にてアドバイスを行っていくようにしている	はい 5名 どちらとも言えない 1名 いいえ 4名 わからない 5名 ・ペアレントトレーニングはやっていないが、問題行動に対するアドバイスは常にケアしてくれている	・要望に応じて対応していく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳や送迎時に療育の様子や活動内容を伝えている	はい 14名 どちらとも言えない 1名 いいえ 0名 わからない 0名 ・帰りの送迎で、自分自身が仕事で迎えられずでお世話をかけています ・なかなか送迎の際にしかお話しする機会が無く、ゆっくりとお話しするタイミングが面談しか無いと思う ・帰りにどんなことがあったかをいつもお話しして下さっています。連絡ノートでも伝えていただいています	・伝わりやすい方法や表現を行っていく ・定期的にあセスメントを行い児童の状況をよく把握していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・連絡ノートでの相談事項については可能な限りその日に返答を返すようにしている。また、電話連絡や機会を設けて面談も行っている	はい 14名 どちらとも言えない 1名 いいえ 0名 わからない 0名	・保護者から相談があった際には職員間で共有し、アドバイスや助言を行うようにしていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在実施はしていない	はい 1名 どちらとも言えない 2名 いいえ 11名 わからない 1名 ・学校と違って状況が違うのであっていいかわからない	・必要性や希望があれば検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・第三者委員も含めて対応体制は整備している	はい 8名 どちらとも言えない 1名 いいえ 1名 わからない 5名 ・相手側の苦情をこちら側にも伝えてから対処してほしいことがあった ・そういったシチュエーションが無いのでわかりません	・契約時に説明しているが、周知していく ・ご意見があった際には迅速な対応を心がける
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳にてその日に行った活動の内容や様子を分かりやすく記載するようにしている ・特性に合わせて写真やカード等で伝わりやすくするよう配慮している	はい 13名 どちらとも言えない 1名 いいえ 0名 わからない 1名	・引き続き継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な会報の発行や長期休み前には活動予定等の発信を行っている 行事内容等に変更があった際には連絡帳で伝達するようにもしている 	はい 9名 どちらとも言えない 5名 いいえ 0名 わからない 1名 ・紙ベースの会報ではなくホームページとかあるといいなと思う(あと1カ月に1回くらい様子の写真など見たいです)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きできる範囲で継続していく ホームページでの情報発信の機会も増やしていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> 個人名記載の書類等はシュレッダー処理をしている 	はい 14名 どちらとも言えない 0名 いいえ 0名 わからない 1名	<ul style="list-style-type: none"> 取り扱い方法についての留意事項等、職員に対して伝達していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルを作成して閲覧可能な状態にしている 保護者には特に周知していない 	はい 12名 どちらとも言えない 0名 いいえ 1名 わからない 2名 ・マニュアルの存在は認知していません	<ul style="list-style-type: none"> 契約時等、内容について説明していく 閲覧しやすいように環境を整える
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に避難訓練を行っている 	はい 7名 どちらとも言えない 2名 いいえ 1名 わからない 5名 ・子供達が参加する形での訓練はやっていないと認識しています	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の様子や内容を連絡帳等で知らせていく おたよりにて様子について知らせる
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に職員研修を行っている 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き継続していく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> 該当する状況なし 		<ul style="list-style-type: none"> 必要な際には法令に基づいて適切な対応を取っていく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 対象児の昼食で指針により給食提供が難しい場合はお弁当を用意してもらっている 食事時には席を離す等、接触することがないよう配慮している 		<ul style="list-style-type: none"> 対象児の制限項目や服薬状況について周知確認を行い、注意を払っていく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット、事故が起こった際には職員間で伝達し、報告書を作成している 		<ul style="list-style-type: none"> 事例集を作成していく 外部事例集等を参考に活動時の注意点を確認していく